



联合国
粮食及
农业组织

FOOD AND
AGRICULTURE
ORGANIZATION
OF THE
UNITED NATIONS

ORGANISATION
DES NATIONS
UNIES POUR
L'ALIMENTATION
ET L'AGRICULTURE

ORGANIZACION
DE LAS NACIONES
UNIDAS PARA
LA AGRICULTURA
Y LA ALIMENTACION

منظمة
الغذية
والزراعة
للأمم
المتحدة

Liaison Office in Japan

5F Yokohama International Organizations Center, Pacifico-Yokohama,
1-1-1, Minato Mirai, Nishi-ku, Yokohama 220-0012, Japan

Tel. (045) 222-1101
Facsimile: (045) 222-1103
E-Mail Address: FAO-LOJA@FAO.ORG

F A O (国際連合食糧農業機関) 日本事務所
2010年1月21日

LOJAPR10/02-No. 151

プレスリリース

ハイチの地震からの復興が農家とともに始まる

食料価格の上昇、何千人もの人々が退避を続ける中、春の作付期が優先事項

2010年1月21日、ローマ - FAOのディウフ事務局長は、本日、ハイチにおいて第一段階の救助活動が行われているが、ハイチ及び援助国の活動は同時に食料生産の緊急支援及び農業の復興・再建にも移行すべきであると述べた。

ディウフ事務局長は、3月に始まる春の作付期の前にハイチの農家を直ちに支援しなければならないと述べた。ハイチの穀物の消費量は約100万トンと推定され、そのうち約63%は輸入されている。

「優先的に対応すべきことは、農家に対して農具とともに、種子、肥料、家畜飼料及び動物用ワクチンを供給することである。」とディウフ事務局長は述べた。

何千人もの人々が退避

「何千人もの人々が首都のポルトープランスから農村地域に退避し、食料価格が上昇していることを考慮すると、このような対応は急を要する」とディウフ事務局長は述べた。

「これらの人々には、生きるために必要なものや所得を得るための仕事と与えられる必要がある。」と彼は付け加えた。

ハイチの人口の53%が農村地域に暮らし、47%が都市部に暮らすと推定されている。

極めて重要な春の作付期

春の作付期は5月いっぱい続き、ハイチの農業生産の60%を占める。貯蔵施設やかんがい用水路といった重要な農業インフラが被害を受けているため、ハイチの農家は次の作期のために支援をぜひとも必要としている。

FAOは、ハイチの食料増産を推進するため、欧州連合(EU)、国際農業開発基金(IFAD)、世界銀行、フランス、カナダ、スペイン、オーストリア、ブラジル及びベルギーを含む様々なドナーからの支援により、4,900万ドルにのぼるプログラムを実施する。

このプログラムは、肥料や農具の供給とともに高品質の優良種子、種苗の増産及び配布を含む。

援助国及び FAO のプログラムにより、昨年、ハイチの農産生産は 15 % 拡大し、栄養不良人口が減少した。

食料価格の上昇

ポルトープランスその他の地域における食料価格は、食料及び燃料の不足、サプライ・チェーン、倉庫、港湾への被害のため、上昇しており、ハイチ全土における貧しい人々の生存を脅かしている。

FAO のディウフ事務局長は、「地震はハイチの西部と南部を襲ったが、この大惨事は全域に及ぶ」と述べた。

「この都市における災害が農村の悲劇になることを防ぐためには、来たるべき作付期を救うことが極めて重要だ。」

ハイチには 73 名の FAO の専門家及び職員がいるが、地震によって被害を受け、職員を失ったハイチ政府及び農業省を支援するため、今後数日のうちにこの増強が図られる。

FAO は、地震による被害を受けた地域のインフラ被害や農業部門への影響を評価するため専門家を配備する。

英文 URL : <http://www.fao.org/news/story/en/item/39290/icode/>